

第10回 SICF 審査員決定のお知らせ

2009年5月2日(土)～5月5日(火・祝)にスパイラルホールにて開催する第10回 SICF(スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)の審査員が決定致しました。

ファッション&建築系クリエイター注目！

コスチュームアーティストのひびのこづえ氏、建築家の松永英伸氏がゲスト審査員に決定

第10回SICFでは、コンテンポラリーアートを中心に、審査にも、ファッション、建築などの多彩な視点が加わります。

記念すべき10周年を迎える今年、森美術館館長の南條史生氏をはじめとするレギュラー審査員陣3名に加え、ゲスト審査員としてコスチュームアーティストのひびのこづえ氏、第1回目からSICFの会場構成を手掛けている建築家の松永英伸氏をお迎えします。

豊かな色彩感覚とふくらみのある独特のフォルムもったコスチュームで独自の世界観を表現、ハンカチやタオルなどの雑貨デザインでも人気の高いアーティストのひびのこづえ氏には、主にファッションの観点から審査に加わっていただきます。

また、SICFの展示空間を熟知し、自身も多くのコンペティションで受賞を重ねている松永英伸氏の参加により、建築の観点から、作品のみならずブース内の空間構成やプレゼンテーションの方法まで、さらに高いレベルで出展クリエイターたちの力量を評価する視点が加わります。

ますますエキサイティングな第10回 SICFにご期待ください。



第9回SICF会場風景(撮影:市川勝弘)

ゲスト審査員 プロフィール(50音順 敬称略)

ひびのこづえ(コスチュームアーティスト)

東京芸術大学美術学部デザイン科視覚伝達デザイン卒業。
コスチュームアーティストとして広告、演劇、ダンス、バレエ、映画、テレビなどその発表の舞台は多岐にわたる。
毎日ファッション大賞新人賞、資生堂奨励賞ほか展覧会多数。
教育テレビ「にほんごであそぼ」「からだであそぼ」のセット衣装を担当中。
<http://www.haction.co.jp/kodue/home.html>

松永英伸(建築家)

1989年から1996年まで原広司+アトリエファイ建築研究所勤務後、1997年(有)一級建築士事務所クリップを共同設立。第2回リビングデザイン賞・グランプリ(1997年)、第5回ジャパンアートスカラシップ・グランプリ(1997年)、越後妻有アートトリエンナーレ2000松之山公募・グランプリ(2000年)、あすみが丘東街並みアイデアコンペ・グランプリ(2004年)、第2回住まいの外観コンペティション・日経アーキテクチャ賞(2007年)など受賞多数。2000年にスタートした第1回からSICFの会場構成を手掛ける。 <http://www.clip-lab.jp>

SICFとは・・・次世代のカルチャーシーンの担い手を発掘する目的で2000年にスタートした公募展形式のアートイベント。第10回 SICFは、2009年5月2日～5日まで2日ずつ4日間にわたり、アート、デザイン、ファッション、映像などジャンルの垣根を超えて自由な感性で質の高い創作活動を行うクリエイター100組にプレゼンテーションの場を提供します。
URL <http://www.spiral.co.jp/sicf/>

掲載や取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター 広報部 清水、加藤

TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

E-mail press@spiral.co.jp WEB www.spiral.co.jp

レギュラー審査員 プロフィール (50 音順 敬称略)

浅井隆(アップリンク主宰) [第1回目から毎年審査]

87年にアップリンクを設立。デレク・ジャーマン監督『BLUE』『ザ・ガーデン』、黒沢清監督『アカリイミライ』、矢崎仁司監督『ストロベリーショートケイクス』などをプロデュース。アカデミー賞にノミネートされたセルゲイ・ボドロフ監督『モンゴル』ではアソシエイト・プロデューサーを務める。渋谷区宇田川町に映画館、イベントスペース、ギャラリー、カフェレストランのあるカルチャー・コンプレックスというコンセプトの元にアップリンクの拠点となるスペースを運営する。また08年よりオープンした文化的多様性サイト『webDICE』の編集長を務める。 www.uplink.co.jp

佐藤尊彦(ビームス商品本部 メンズ統括部 係長) [第5回から毎年審査]

BEAMS が誇るハイファッションの殿堂、International Gallery BEAMS のショッパディレクション補佐として商品提案やエキジビション等の企画立案を行なう。また BEAMS とアートの接点、B GALLERY の代表の他、N.Y のインディペンデント雑誌「Lid Magazine」、イギリスのロックフォトコレクティブ「Rockarchive」の日本担当を兼任。
www.beams.co.jp

南條史生(森美術館館長) [第1回～第8回まで審査]

ヴェニスビエンナーレ日本館のコミッショナー(1997 年)、ターナープライズ審査員(1998 年)、横浜トリエンナーレ2001 アーティスティックディレクター(2001 年)、ヴェニスビエンナーレ金獅子賞審査員(2005 年)、シンガポールビエンナーレアーティスティックディレクター(2006 年及び 2008 年)などを歴任。1995 年「新宿アイランド・アート計画」、1999 年「博多リバレイン・アートプロジェクト」などパブリックアートの分野でも活躍。2006 年 11 月より森美術館館長を務める。

顕彰について

国内外の幅広い分野でクリエイションに携わる審査員が選ぶ各賞のほか、来場者の投票で決まるオーディエンス賞を授与しています。受賞者には、以下の特典が授与されます。(発表は最終日)

◇グランプリ	スパイラルでの作品発表、 スパイラルペーパーでの紹介、 次回 SICF への出展招待
◇準グランプリ	次回 SICF への出展招待
◇オーディエンス賞	次回の SICF への出展招待
◇審査員賞各賞	次回の SICF への出展招待

第10回 SICF 開催概要

【イベント名】	第10回 SICF(スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)
【会 期】	A グループ 2009 年 5 月 2 日(土)、3 日(日・祝) 11:00~20:00 B グループ 2009 年 5 月 4 日(月・祝)、5 日(火・祝) 11:00~20:00 ※但し最終日(5 月 5 日)は 19:00 まで
【会 場】	スパイラルホール(スパイラル 3F) 東京都港区南青山 5-6-23 (東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線 表参道駅)
【入 場 料】	1 日券/一般 700 円 学生 500 円 4 日間フリーパス/一般 1,500 円 学生 1,000 円
【主 催】	株式会社ワコールアートセンター
【企画制作】	スパイラル
【会場構成】	CLIP
【グラフィックデザイン】	マグニチュードグラフィックス